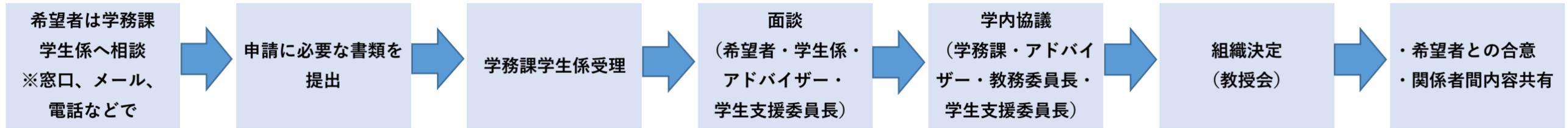


修学上の合理的配慮に関する概要

1. 手続きの流れ



2. 相談の期間

随時

3. 想定される支援（例）

- ・座席の配慮
 - ・教材拡大
 - ・ノートテイク
 - ・注意事項等の文書伝達
 - ・専用机やスペース等の確保
 - ・試験解答方法の配慮
 - ・途中退席の配慮
 - ・別室受験
 - ・録音撮影許可
 - ・注意事項等の視覚的な提示
 - ・授業中の服薬許可
- など

4. 合理的配慮及び支援の実行の確認

アドバイザーが面談時に、合理的配慮及び支援が実行されているか、希望者に確認する。

5. その他

実施に伴う負担が過重である場合には、希望に添えないことがある。